



糸魚川市立磯部小学校

所在地 糸魚川市大字筒石 500

校長 増村 浩一

教頭 橋本 晃

☎ 025(567)2200 Fax 025(567)2902

Email isobesho@itoigawa.ed.jp

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

- S44 磯部地区 6 か校が統合（筒石、徳合、仙納、藤崎、大洞、百川）
- S45 実質統合により、校舎新築・落成
- S61 優良 P T A 文部大臣表彰受賞
- S63 高速北陸道のトンネル工事に伴う土砂により、グラウンドを整備
- H6 筒石漁協の協力による地引網体験活動の開始
- H23 旧磯部中学校体育館を本校体育館として使用開始
- H25 校舎改築工事により新校舎完成体育館改修工事完了
- H30 創立 50 周年記念式典挙行
- R1 優良 P T A 文部科学大臣表彰受賞

(2) 教育課題

- 思考力・判断力・表現力等の育成
- 互いを認め合い尊重する心や態度の育成
- 安全教育・防災教育・特別支援教育の推進
- 生活習慣の改善や体力向上への支援
- 自ら、課題や問題の解決に取り組む主体性の育成

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

「学び続ける子 互いに認め合う子
健やかに育つ子」

(2) 求める子どもの姿

- ふるさと磯部を愛する子ども
- 自ら学び、対話により考えを広げ、深める子ども
- 思いやりをもって、共に行動できる子ども
- 運動に親しみ、よりよい生活習慣を築ける子ども

(3) 重点目標達成のための方策

「学びプロジェクト」「心・体プロジェクト」、
の二つのプロジェクトで具体的な取組事項と評価項目を協議・検討し、実践を推進する。

【確かな学びに向けた方策】

- 共に考え、学び、様々な視点で考えを深める授業の実施
- 『ふるさと磯部（人・もの・こと）』を中核としたキャリア教育の推進

2023 年度学級編成

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級	1		1		1		0	3
男子	3	1	2	3	0	3	0	12
女子	2	2	2	3	3	2	0	14
計	5	3	4	6	3	5	0	26

- 望ましい学習習慣の定着
- 『学力向上いといがわプラン』の推進と効果の検証

【豊かな心・健やかな体に向けた方策】

- かかわり合い、互いのよさを認め合う活動の実施
- 気持ちのよいあいさつと相手の気持ちを考えた言葉遣いの定着
- 家庭と連携して行うメディアとの適切な付き合い方の確立
- 進んで体を動かそうとする態度の育成

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

- ・ 自ら学び、自ら表現し、考えを深め合おうとする意欲を高め、基礎・基本の定着とともに、思考力・判断力・表現力等を育てる。

(2) 特別の教科 道徳

- ・ 「考え、議論する道徳」の充実に向け、道徳的価値に関する体験活動や問題解決学習などを効果的に取り入れ、価値の主体的自覚を促す指導に努める。

(3) 外国語活動

- ・ 外国の言語や文化への興味・関心を高めるとともに、異文化への理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

- ・ 主体的に人・もの・ことと関わり、自ら課題をもち、探究的・協同的に解決しながら、進んで自分の思いや願いなどを表現する力を育てる。課題を見付け、主体的に解決していく力を育てる。

(5) 特別活動

- ・ 児童一人ひとりが自分の考えをもって参加し、合意形成を図りながら、進んで活動しようとする態度を育てる。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

- ・ 自他のよいところに気付き、互いに認め合う子の育成
- ・ 社会性を身に付け、望ましい人間関係を結ぶ子の育成
- ・ 不登校やいじめのない学校づくりの推進

(2) 具体的な実践の方策（抜粋）

- 助け合い、励まし合う温かい学級集団の育成に努める。
- 毎月、心のアンケートを実施後、教育相談を行い、いじめや児童の悩みや困り感など児童の実態に寄り添い指導にあたる。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「自ら学び、対話により、考えを広げ深める子の育成」～国語科における直接・間接指導の充実を目指した複式の授業づくり～（3年計画）

(2) 研究の内容

- 授業研究（①対話のための技能の向上、②対話を広げ・考えを深めるための視覚的ツールの活用、③糸魚川市授業改善チェックリストによる授業の評価、④学力向上いといがわプランの推進）
- 日々の教育活動における対話のための技能向上と目指す姿の明確化と共有
- 国語科と生活科、総合的な学習の時間を有機的につなげる単元づくり

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

主に総合的な学習の時間で、中学校区での共通取組事項でもあるキャリア教育と関連づけて、地域素材や地域講師を活用し、児童がふるさとへの誇りと愛着をもつことができるようにする。

- ①低学年…動植物を育てる活動を通して動植物も自分と同じように生きていることに気付くとともに、命を大切にすることができるようになる。
- ②中学年…磯部地区の自然やそこに暮らす人々の暮らしを学ぶことにより、地域のよいところに気付き、地域を好きになる。
- ③高学年…地域の産業（農業、漁業、観光）について自然環境や人材から学ぶことを通して、現在、そして未来の磯部地区について考え、発信する。

(2) キャリア教育

ふるさとへの愛着をもち、自分のよさや特性に気付き、将来への夢や希望をもち、その実現に向けて主体的に学び続ける児童を育成する。

- ①低学年…係や当番の仕事など自分の身の回りのことを友だちと協力し最後までやる。
- ②中学年…社会科や総合的な学習の時間での地域探検や地域の人との交流から、地域に興味を持ち、働くことの大切さに気付く。
- ③高学年…地域の特色やよさを理解し、愛着を持って地域の人、もの、ことに関わり、進んで地

域活動等に取り組む。

(3) 特別支援教育

個別指導計画と個別の教育支援計画を作成し、児童の特別な教育的ニーズに応えた指導を行う。校内委員会を定期的に関き、保護者や関係機関と連携し、全校体制で取り組む。

(4) 学力向上いといがわプラン

朝学習として、「音読・計算・漢字学習」の3取組を実施する。帯時間帯を設定し、1限の学習（国語）へと継続する。

7 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○教諭 3 ○養護教諭 1
- 事務主事 1 ○管理員 1

8 学校運営協議会

【委員の構成】 14名

- 地区協議会長、地区公民館長、区長
- 民生委員・児童委員代表、学識経験者
- PTA、地域支援コーディネーター他

【CSとしての課題】

- 少子化、高齢化する地域を活性化する事業の取組
- 学校の課題と地域の課題を明確にしなが、実現可能な教育活動の展開

【日課表】

	月	火	水	木	金
8:05~ 8:15	朝の会				
8:15~ 8:30	学力向上いといがわプラン				
8:30~ 9:15			1	限	
9:20~ 10:05			2	限	
10:05~ 10:25	20分休み				
10:25~ 11:10			3	限	
11:15~ 12:00			4	限	
12:00~ 12:35	給食				
12:40~ 13:20	昼休み（月曜 13:10まで）				
13:20~ 13:35			清	掃	
13:40~ 14:25			5	限	
14:25~ 14:40	帰りの会				
14:40~ 15:25			6	限	

*登校完了 8時00分

*下校時刻 15時30分・40分

*通学方法 路線バス徳合方面3名、百川方面7名、徒歩通学16名



糸魚川市立能生小学校

所在地 糸魚川市能生 4485 番地

校長 松岡 貴徳

教頭 根津 恭子

☎ 025(566)2026

fax025(566)3159

Email noushou@itoigawa.ed.jp

2023 年度学級編制

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	1	1	1	1	1	1	4	10
男子	7	16	15	14	13	10	12	87
女子	13	10	15	14	17	11	6	86
計	20	26	30	28	30	21	18	173

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

- M7 第5 中学区公立第 16 番能生小学校創立
- S22 能生町立能生小学校と改称
- H13 P T A と「新潟緑の百年物語」植樹実施
- H15 校舎耐震大改装を実施
- H17 市町合併 糸魚川市立能生小学校と改称
- H27・28 文部科学省「道德教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」委託研究を実施
- R 2 糸魚川市学力向上研修会 陰山メソッド全国大会を実施
- R 5 木浦小学校と統合

(2) 教育課題

- 相手意識と社会性の育成
- 主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり
- 生活習慣の改善と健やかな体づくり

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

「よく学び 心豊かに たくましく」

(2) 重点目標

- 学校教育全体で取り組むキャリア教育
～「人とかかわる力」「自分を見つめる力」を重点に～

(3) 重点目標達成のための方策

- 能生中学校区で設定した、キャリア教育で身に付けたい 5 つの力の中の「人とかかわる力」「自分を見つめる力」の育成に重点を置き、行事や様々な活動を計画立案する。
- 行事や活動後に、5 つの力の育成状況を振り返り、行事や活動に改善を加える。

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

主体的・対話的で深い学びの実現に向け、よさを認め合い高め合う場を設定（プラスのフィードバック）し、学び続ける力を育てる。

(2) 道徳科

相手の立場を考えて仲良く助け合い、温かい言葉で励まし合おうとする心と自らの判断で行動できる態度を育てる。

(3) 外国語活動・外国語科

対話を重視し、外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

能生の人、もの、こととかかわり合い、問題解決過程で自己の生き方を考えていく資質・能力を育てる。

(5) 特別活動

人とかかわるなかで、望ましい人間関係を築き、自己実現を図ろうとする態度を育てる。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

学校生活の中で、正しく判断し、主体的に行動するために、社会性と相手意識を育てる。

(2) 具体的な実践の方策（抜粋）

- 児童の自発的かつ主体的な成長・発達の過程を支援していく働きかけを行う。
- 子ども同士が心の触れ合いを深め、共感的な人間関係を構築する集団作りを行う。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「分かる授業で居心地のよい学級づくり」

(2) 研究の内容

- ①授業改善5つのポイントの実施によるシンプルでテンポの良い授業展開
- ②意図的・効果的なプラスのフィードバック

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

主に総合的な学習の時間で、地域素材や地域講師を活用し、児童がふるさとへの誇りと愛着をもつことができるようにする。

<主な地域素材>

- ①3年生…白山神社、弁天岩
- ②4年生…能生川
- ③5年生…海洋高校、あぐ里能生
- ④6年生…地域の高齢者（フウセンカズラ高齢者見守り隊の活動）

(2) キャリア教育

人とかかわり合いながら活動し、自己のよさを生かして、進んで人の役に立とうとする子どもを育てる。自分にあつためあてをやり遂げる子どもを育てる。

- ・学校教育全体での取組
- ・全校でのフウセンカズラ高齢者見守り隊でのお年寄り訪問支援活動
- ・全校で継続的にかかわり合う縦割り班活動

(3) 特別支援教育

- ①学校体制で取り組む特別支援教育の推進
 - ・校内委員会を中心としての情報共有と、校内支援体制の工夫・改善
 - ・「交流及び共同学習」の継続的な実施
- ②関係機関との連携による一貫した支援
 - ・SC、SSW、生活指導支援員、家庭児童相談員等と連携した支援の充実

(4) 陰山メソッド

朝活動の時間を「Nouトレタイム」とし、音読・百ます計算・漢字を実施

7 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○教諭 15 ○養護教諭 1
- 栄養教諭 1 ○主任 1 ○教育補助員 3
- 図書館司書 1 ○管理員 1 ○ALT 1

8 学校運営協議会委員等

【委員の構成】14名

町内会連合会長、糸魚川市人権擁護委員、小泊地区長、能生保育園長、PTA会長ほか

【その他支援団体等】

- 地域後援会 ○民生児童委員 ○学区町内会
- 能生地区まちづくり推進協議会

□□ 日課表 □□

令和5年度校時表						
糸魚川市立能生小学校						
項目	時間帯	週 時 程				
		月	火	水	木	金
職員出勤	8:15	児童登校				
児童登校	8:00~8:10	児童登校				
朝の会	8:15~8:25	学級朝会・健康観察				
朝活動	8:25~8:35(10)	<NOUトレタイム> ～音読・百ます計算・全学年漢字～				<朝読書> フン化物洗口
1限	8:35~9:20	1	6	12	18	24
2限	9:25~10:10	2	7	13	19	25
休憩	10:10~10:30					
3限	10:30~11:15	3	8	14	20	26
4限	11:20~12:05	4	9	15	21	27
給食	12:05~12:45	給食				
休憩	12:45~13:30					
清掃	13:30~13:45	清掃	ロッジの躯体み	清掃	集会(全校・児童) /5分・ロッジの躯体み	清掃
5限	13:50~14:35	5	10	16	22	28
終会・休憩	14:35~14:45	学級終会・休憩		学級終会 13:50-14:00 クラブ 14:00-15:30 16-17	学級終会・休憩	
6限	14:45~15:30	会議・研修	11	17 委員会	23	29
児童下校		5限下校日:14:50 6限下校日:15:40				
課外		会議・研修	教材研究 事務処理	終会 子ども語る会 16:15~16:45	教材研究 事務処理	教材研究 事務処理
職員退勤	16:45					

*児童下校 14:50、15:40

- *通学方法 徒歩 163名
- 路線バス(朝) 10名
- スクールバス(帰り) 10名

糸魚川市立南能生小学校



所在地 糸魚川市溝尾 2991-4

校長 谷内 卓生

教頭 大坪 豊

☎ 025(568)2011

fax025(561)5015

Email_minaminou@itoigawa.ed.jp

2023 年度学級編成

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	1	1	1	1	1	1	1	4
男子	0	1	1	1	1	1	0	5
女子	2	1	0	2	2	2	1	10
計	2	2	1	3	3	3	1	15

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

S 37 川内小学校統合

S 59 現校舎完成

S 63 上能生小学校・高倉小学校統合

H17 糸魚川市立南能生小学校(改称)

H23 新潟県小学校教育研究会学習指導改善調査研究事業公開校実践事例報告会開催

R 元 新潟県へき地複式教育研究会主催授業研究会開催

(2) 教育課題

□基礎的・基本的内容の習得と活用 [まなび]

□認め合い・励まし合い自己有用感に満ちた仲間づくり [こころ]

□みんなで高め合う体力・健康づくり [からだ]

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

学び きたえ 励まし合う子

(2) 重点目標

主体的に考え、学び続ける子

(3) 重点目標達成のための方策

- 週4回の学力向上といがわプランの実施
- 多様な考えや表現、様々な資料に触れる機会の充実
- 身に付けた言葉を使って表現する機会の確保
- 課題把握の場の確保
- 学んだことを伝えたり、話したりする機会の充実
- 地域人材を生かした体験活動の推進
- 特別活動における主体的を育む活動の設定
- 道徳教育、人権教育の充実
- 縦割り班で協働する活動の設定
- めあて・振り返りカードやQUアンケートを活かした学級づくり
- 目標の共有と課題を解決する場の設定

●タブレット端末を活用した振り返り活動の充実

●生活を振り返り、目標を仲間とともに考える場面の設定

●メディアの上手な使い方の啓発

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

新学習指導要領の趣旨を踏まえ、自分でじっくり考え、友達の意見や考えを聞き、自分の考えを高める授業づくりを行う。

少人数学習ならではのきめ細やかな授業による確かな学力を育成する。

(2) 道徳の時間

道徳的価値の自覚が深まるよう、「問題解決的な学習」「体験的な学習」を基にした学習過程を工夫し、豊かな心と道徳的実践力を育てる。

(3) 外国語活動

外国語の学習を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

進んで対象にかかわり、地域の自然や伝統、くらしや文化からよさを学び、地域を大切にしようとする態度を育てる。

(5) 特別活動

児童の発達段階や個性に応じた活動を尊重しながら社会性を育てるとともに、自主的・自発的な態度を育てる。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

自己有用感にあふれる集団づくりや互いに協力して集団生活を送ろうとする態度等の社会性の育成、基本的な生活習慣の定着を図る。

(2) 具体的な実践の方策

●教育活動全般において、一人ひとりのよさや可能性を生かす支援を行うとともに、自己実現を図る

指導と評価の工夫を推進する。

- 育てたい社会性の重点化を図り、家庭・地域と連携して発達段階に即した社会性の育成に努める。
- 特別活動では、互いの意見を尊重して問題を解決する意欲や態度の育成、児童が主体的に関わる行事の実現を図る。
- 道徳指導との連携を図り、体験的な活動を通して規範意識の醸成や道徳的価値の自覚を高める。
- 児童理解のための研修会や情報交換会を実施し、全職員の共通理解を深める。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「問題を正確に読み解く力の育成（3年次）」

(2) 研究の内容

「資料を正確に読み解く力・読み取ったことをわかりやすく表現する力」を育成できるように下記の学習過程に重点をおいて実践を行い、成果をまとめる。

- ① NRT学力調査での誤答問題と類似する課題の工夫
- ② 「読み取ってほしいこと」「身に付けさせたい読み取るためのねらい」の明確化
- ③ 読み取った意見や考えの理由などを明確にして発表したり伝え合ったりする場面の設定
- ④ 「比較」「類似」などの考えを深化させる場面の設定
- ⑤ 資料を有効に活用する機会の設定

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

地域の「人・もの・こと」とかかわり、地域のよさを学び、地域を大切にしようとする活動を推進する。

(2) キャリア教育

自分らしい生き方をふるさと上南から学び、夢や希望をもって取り組む教育活動を推進する。

(3) 特別支援教育

だれもが安心して学べる環境の整備と分かりやすい授業を推進する。

(4) 陰山メソッド（小学校のみ）

学力ぐんぐんタイムに「音読・百マス・漢字練習」の3取組を実施する。

※月曜日は、朝読書（読み聞かせ）を実施するため、週4日実施する。

7 教職員の構成

○校長1 ○教頭1 ○教諭4 ○養護教諭1
○主事1 ○管理員1

8 学校運営協議会

【委員の構成】15名

○区長会長、学職経験者、民生委員、学校後援会長、各地区考える会代表、地域学校協働活動推進委員、実業家、PTA会長・副会長 他

【CSとしての課題（熟議の課題と取組）】

- 地域の様々な機関や団体とのネットワーク
- 「地域に学び 地域と歩む」連携の在り方

□□ 日課表 □□

	月	火	水	木	金
8:00	職員出勤・児童登校				
8:10~8:15	朝の会(月曜日はフッ化物洗口)				
8:15~8:35	朝読書	学力ぐんぐんタイム(音読・百マス・漢字練習)			
8:40~9:20	1校時				
9:25~10:05	2校時				
10:05~10:35	おおぞらタイム				
10:35~11:15	3校時				
11:20~12:00	4校時				
12:05~12:35	給食				
12:35~13:20	フレンドリータイム				
13:20~13:35	清掃		清掃		清掃
13:40~14:20	5校時				
14:25~15:05	6校時				
15:05~15:15	下校準備				
15:15~	児童下校				

*児童生徒下校 15時15分

*通学方法 スクールバス 登校 1名 下校 3名
路線バス 3名
徒歩 登校11名 下校 9名



糸魚川市立中能生小学校

所在地 糸魚川市大字平 404

校長 若木 直弘

教頭 高瀬 育子

☎ 025(566)2702

Fax 025(566)2099

E-mail nakanou@itoigawa.ed.jp

2023 年度学級編成 (特支人数は再掲)

学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特 支	合 計
学級	1	1	1		1		1	5
男子	1	6	2	5	0	4	1	18
女子	2	3	2	7	4	3	2	21
計	3	9	4	12	4	7	3	39

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

- S 37 旧中能生小、旧西能生小、旧柱道小の3校が統合し、能生第二小学校として設立
- S 38 校名改称、中能生小学校となる
- S 63 新校舎竣工、記念式典挙行
- H 3 統合 30 周年記念式典・祝賀会
- H 19 体育館改築工事完了
- H 29 プール内壁塗替工事完了
- R 3 無線LAN整備 全児童へ iPad 配付

(2) 教育課題

- 学力の向上を図ること
- 相手を思いやり、自ら考えて行動する態度を育てること
- 健康や安全への意識の向上を図り、実践力を育てること

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標 学びあい 助けあい 鍛えあい

(2) 重点目標

- 進んで、分かりやすく表現する子
- 相手を思いやり、進んで考動する子
- めあてを決め、進んで健康な生活をする子

(3) 重点目標達成のための方策

- 学力の向上と問題解決能力の育成に努める。
- 望ましい人間関係づくりに努める。
- ジオパーク学習を推進する。
- 一人ひとりの職員の指導力と組織力の向上に努める。
- 保育園・中学校、家庭、地域、諸機関との連携を強化する。

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

自分の考えをもち小集団による練り上げができる授業を展開し、思考力の向上を図る。

(2) 道徳の時間

ねらいとする道徳的価値を自分の課題と受け止め、よりよく生きようとする意欲を育む。

(3) 外国語活動

言語や文化について理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

地域の自然や伝統、文化などに関わりながら、探求的な学習を通して生きる力を育む。

(5) 特別活動

異学年や様々な人との交流の機会を設定し、主体的に活動していこうとする態度を育てる。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

相手の気持ちを思いやり、進んで考え行動する子どもを育てる。

(2) 具体的な実践の方策 (抜粋)

- 一人ひとりと関わり、安心して過ごせる学級・学校づくりをする。
- 明るい挨拶が、いつでもどこでも誰にでもできるように指導する。
- 縦割り班活動等で自主的に子どもどうしに関わる活動を充実させる。
- いじめ防止基本方針に基づき、問題行動等の未然防止と早期発見、即時対応に努める。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「一人ひとりが主体的に取り組み、考えを深め合うこどもの育成」

～言語活動の充実を通して～

(2) 研究の内容

- ・集中力を高め、基礎・基本の定着を図る。
- ・考えを伝え合い、深めることができるよう ICTを活用しながら、言語活動を工夫する。
- ・課題からまとめ、振り返りまでを意識した授業を展開する。
- ・家庭学習に意欲的に取り組めるように、計画づくりと日々の見取り等を工夫する。

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

主に総合的な学習の時間で、地域素材や地域講師を活用し、児童が郷土への誇りと愛着をもつことができるようにする。

- ① 3・4年生…中能生地区の自然の魅力発見
- ② 5・6年生…地域の産業、キャリア教育

(2) キャリア教育

自分の意思で行動し、思考力や表現力を高め、自分の夢や希望をもつ。(キャリアパスポートの活用)

- ①低学年…自分物語、町・地域探検
- ②中学年…活動リーフレット、郷土に伝わる願い
- ③高学年…将来の自分を考え、夢を綴る

(3) 特別支援教育

生活力を身に付け、たくましく生きる子どもを育てる。

- ①支援を必要とする児童の全職員での情報共有
- ②温かい人間関係の醸成
- ③環境のユニバーサルデザイン化

(4) 学力向上といがわプランの実施の概要

(時間、内容)

- ・毎週火～金の 8:15～8:30
- 8:15～8:20 音読
- 8:20～8:25 百マス計算
- 8:25～8:30 漢字前倒し

7 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○教諭 5 ○養護教諭 1
- 事務主事 1 ○教育補助員 1 ○管理員 1

8 学校運営協議会

【委員の構成】13名

- 地区公民館長 ○保育園長 ○PTA会長
- 区長会長 ○後援会長 ○主任児童委員
- 各地区選出の地域住民

【CSとしての課題（熟議の課題と取組）】

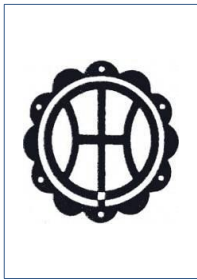
- 生活科・総合的な時間の内容・講師について
- 各種行事における地域と学校の連携について

□□ 日課表 □□

	月	火	水	木	金
8:15～8:30	朝清掃	朝学習	朝学習	朝学習	朝学習
8:30～8:45	朝の会				
8:45～9:30	1時間目				
9:30～10:20	2時間目				
10:20～10:35	移動時間・学習準備				
10:35～11:20	3時間目				
11:25～12:10	4時間目				
12:10～12:55	給食				
12:55～13:40	昼休み				
13:40～	5時間目 13:40～	つくし	清掃	つくし	Vs 清掃
14:00～14:45	6時間目	5時間目 (クラブ 14:00～15:45)			
15:00～15:45	14:30～	6時間目	6時間目	(委員会)	6時間目
～16:45	下校	課外活動	下校	下校	課外活動

*児童生徒下校 15時 15時50分

*通学方法 徒歩 39名



糸魚川市立下早川小学校

所在地 糸魚川市日光寺 322 番地

校長 西 健志

教頭 八木 千佳誉

☎ 025(555)2107

fax025(555)4516

Email tukimizu@itoigawa.ed.jp

2023 年度学級編成

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	1	1	1	1	1	1	2	8
男子	4	1	8	5	6	4	4	32
女子	6	3	6	6	4	7	4	36
計	10	4	14	11	10	11	8	68

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

明治 7 年 第六大区第五中学区七区日光校として創立 (11 月)

大正 14 年 校歌制定 (中山晋平作曲 相馬御風作詞)、学校林開始

昭和 29 年 糸魚川市立下早川小学校と改称

昭和 39 年 県愛鳥モデル校指定

昭和 54 年 つつじが丘緑の少年団結成

平成 17 年 中早川小学校と統合

平成 28 年 上早川小学校と統合

(2) 教育課題

豊かな自然環境と温かい地域の支援に支えられ、小規模校ならではのきめ細かな教育を行っている。

互いに認め合いながら自他を尊重し、高め合う関係を構築する児童の育成に取り組んでいる。

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標 「一歩前へ」

(2) 重点目標

知：進んで学び 高め合う子

徳：自分を見つめ よりよく友達とかかわろうとする子

体：体力づくりに 進んで挑戦する子

(3) 重点目標達成のための方策

知：進んで学び 高め合う子

□「伝える力」・「読み取る力」の育成

○自分の考えをしっかりと伝える授業の展開

○読書活動を重視し、「読み取る力」「多様な言葉を知り、活用する力」を育む

○課題、まとめ、振り返りを重視した授業の工夫

○ICTを効果的に活用した授業づくり

□基礎・基本の定着

○糸魚川プランによる集中力と基礎学力の育成

○ワークテストによる学力の定着確認と補充学習

○家庭での自主学習と読書の習慣化

□早川に愛着と誇りをもつ子の育成

○地域の特色と人材を生かした学習

○自然に対する感性や言語感覚を磨く俳句学習

徳：自分を見つめ よりよく友達とかかわろうとする子

□自分も友達も大切にし、思いやりのある言動ができる豊かな心の育成

○思いやりの心を育成するための重点指導

○全校教育活動を通して育む、自己有用感

○居心地の良い学級作り

○自己を見つめ、生き方についての考えを深める
道徳の授業展開

□学校・地域・家庭で、相手に聞こえる声で進んで
あいさつをする態度と気持ちの育成

○発達段階に合わせた、相手を意識したあいさつ

○児童会組織によるあいさつ運動の実施

体：体力づくりに 進んで挑戦する子

□めあてをしっかりと持ち、体づくりに励む態度の育成

○体を動かすことが好きになる体育授業や遊びの工夫

□早寝・早起き等の望ましい生活習慣の育成

○年3回の強調週間の実施による健康への関心・意欲の高揚

○座姿勢を意識させることでの健康意識の高揚

□自然災害の特徴を知り、自分の身を守るための知識と行動力の育成

○年間指導計画に基づく自然災害の学習を発達段階に応じて行い、訓練等で実践力を高める。

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

基礎的な知識・技能及び各教科の基本的な知識・技能を習得し、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成する。

(2) 道徳の時間

友達を尊重し、共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。

(3) 外国語活動

外国語による言語活動を通して、主体的にコミュ

ニケーションを取ろうとする意欲と態度を育てる。

また、ねらいを明確にして授業を構築し、評価することで、指導と評価の一体化を図る。

(4) 総合的な学習の時間

地域の人・もの・こととのかかわりを通して課題を見つけ、仲間と協力しながら主体的・創造的に課題を解決しようとする態度を育てる。

(5) 特別活動

自主的、実践的な集団活動を通して人間関係をよりよく形成し、自己実現をはかろうとする子の育成

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

自分も友だちも大切に、思いやりのある言動ができる豊かな心の育成

(2) 具体的な実践の方策(抜粋)

- アンケートや相談員との連携などにより、児童理解や問題行動の未然防止に努める。
- 「よい子のやくそく」等を繰り返し指導し、保護者や地域と連携してきまりの徹底を図る。
- 進んで相手に伝わるあいさつができることを目標にあいさつ運動を推進する。
- 全校 SST などの実施により、受容的・肯定的な人間関係を育て、自己肯定感を高める。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「対話を通して、考えを確立する児童の育成」
～自分の考えを練り上げる・確かなものにする授業の工夫～

(2) 研究の内容

対話を通して、自分と友達の考えを比較し、自分の中で考えを再考し、深めようとする児童の姿が増えた。今年度は、相手に分かりやすく「書く・まとめる・伝える力」を高めることに重点を置き、対話を通して自分の考えを練り上げ、確かなものにしていく授業を目指す。

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

地域素材や講師を活用した学習をし、児童が早川地域への誇りと愛着をもてるようにする。

(2) キャリア教育

ものづくりや施設訪問などの体験活動を通して、望ましい職業観を育てるとともに、多様で幅広い他者との人間関係の構築を図る。

(3) 特別支援教育

全職員での情報共有を行うとともに、カウンセラーや関係機関との連携を密にする。また、UD化の視点での指導方法の工夫・改善を行う。

(4) 学力向上糸魚川プラン

○実施の概要(時間、内容)

音読・100 ます計算・漢字:朝学習の時間

漢字前倒し学習:1 学期…学年の全漢字の読み・書き

2、3 学期…学年の全漢字の習熟

(5) その他

①俳句学習

全校で俳句学習に取り組み、豊かな感性を養うとともに、言語感覚を磨く。

②緑の少年団

緑化活動や愛鳥運動などを通して、豊かな心と体を養う。

③クロスカントリースキー

強い精神力と体力の向上を図るとともに、雪に親しむことを通して、ふるさとへの愛着をもたせる。

7 教職員の構成

○校長 1 ○教頭 1 ○教諭 9 ○養護教諭 1 ○非常勤講師 1
○事務主事 1 ○教育補助員 4 ○管理員 1 ○調理員 2

8 学校運営協議会

【委員の構成】12 名

○PTA、学校後援会、公民館、自治振興会、民生委員、学区保育園、スキークラブ関係者

【CSとしての課題(熟議の課題と取組)】

○地域を元気にするあいさつ運動の展開

○学校の教育活動への地域人材の活用

□□ 日課表 □□

令和5年度 校時表							
時刻	月	火	水	木	金		
8:05	朝会	学級朝会(10分間)				金	(倉:フタバ倉庫口)
8:15	朝学習	読書	音読・マス計算・漢字				
8:30	1限	<1>	<6>	<11>	<16>	<21>	
8:45		5分休み・移動					
9:20	2限	<2>	<7>	<12>	<17>	<22>	
10:05	第四休み	20分休み・移動					
10:25	3限	<3>	<8>	<13>	<18>	<23>	
11:10		5分休み・移動					
11:15	4限	<4>	<9>	<14>	<19>	<24>	
12:00	給食	給食(12:35ごろさうじま、その後3分間道徳)					
12:40	昼休み	星 休 み(休憩時間12:40~13:25)					
13:40	清掃	<5>	清掃	清掃/各種集会	<20>	清掃	
13:45		13:28~14:10	移 動 5 分		13:28~14:10	移動5分	
14:10	5限	学級集会(10分間)	<10>	<15>	学級集会(10分間)	<25>	
14:20		5分休み(移動)	13:46~14:30		5分休み(移動)		
14:30		<26>			<28>		
14:40	給食	2/3時間	学 級 集 会(10分間)		2/3時間	学級集会	
14:45		35分間	5分休み	児童下校14:45 田18:12 上18:20	35分間	下校・移動	
14:55	6限	14:25~15:00	<8D>	委員会(9~9時)	14:25~15:00	<29>	
		3-6年	4-6年	クラブ(9~9時)	2-6年	4-6年	
		児童下校16:10 田16:12 上16:20	児童下校 16:45 田16:08 上16:15		児童下校16:10 田16:12 上16:20		
15:30		職員会議	(課外活動)		終会16:00	(課外活動)	
15:40		職員研修					
15:45							
16:20	放課後						

*通学方法 路線バス 21 名 徒歩 47 名

糸魚川市立大和川小学校

所在地 糸魚川市田伏 87

校長 富永 範子

教頭 竹内 淳

☎ 025(552)3115

fax025(552)5509

Email nadesiko@itoigawa.ed.jp



2023 年度学級編制 (特支人数は再掲)

学年	1	2	3	4	5	6	特	合計
学級	1	1	1	1	1	1	3	9
男子	5	15	19	14	17	15	15	85
女子	9	11	13	12	12	20	4	77
合計	14	26	32	26	29	35	19	162

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

M7 大和川小学校開校

S61 校舎完工式, 記念祝賀会

H26 創立 140 周年

(2) 教育課題

□主体性を育み, 集団で向上する児童の育成

□思いやりのある言動ができる児童の育成

□健康習慣の育成

□互いのよさを認め合う気持ちの醸成

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

「よく学び 心やさしく 元気な子」

(2) 重点目標

学校教育全体で取り組むキャリア教育

(3) 重点目標達成のための具体的方策

① 授業で学級づくり

- 一人ひとりの子どものよさを引き出し, 相互に認め合える人間関係, 支え合う関係を育む授業づくり

② 地域に学ぶ・地域とともに歩む活動

- ふるさと糸魚川のよさを知り, 発展を願う子どもを育成するための, 「地域に学び, 地域に働きかける活動」の実践
- 地域, 保護者との確かな連携

③ 基礎学力と集中力の向上

- 「学力向上いといがわプラン」の着実な実践
- 集中する力を育て, 子どもたちのもっている力を最大限伸ばす教育を目指す。

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

基本的な学習規律・習慣を身に付け, 思考力・判断力を高める。

(2) 道徳の時間

相手のことを思いやり, 進んで親切にする心情を育む。

(3) 外国語活動

自国や他国の文化のよさが分かり, 進んでコミュニケーションをとろうとする児童を育成する。

(4) 総合的な学習の時間

教科で培った力を進んで活用し, ふるさとに誇りと愛着をもつ児童を育成する。

(5) 特別活動

よりよい集団に向けて, 自ら進んでものごとに取り組む児童を育成する。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点 (抜粋)

- ①時や場を考えた行動の意味を学び, 善悪を判断して行動できるようにする。
- ②教師と子ども, 子ども同士の信頼関係づくりを行う中で, いじめや不登校, 問題行動の予防に努める。

(2) 具体的な実践の方策

- 生活目標の取組により生活習慣の定着を図る。
- 相手の気持ちを考えて行動する態度を育てる。
- 家庭や地域と連携し, 挨拶運動を推進する。
- 問題行動の早期発見・早期解決を図る。
- 異学年交流を推進し自己有用感の向上を図る。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

主体的に学び、考えを深める子ども(3年次)
～基礎学力の定着、授業改善、家庭学習習慣
の育成を通して～

(2) 研究の内容

- ①基礎学力と集中力の向上を目指した集中タイム(学力向上いといがわプラン3取組)
- ②「授業改善5つのポイント」を意識し、子どもの「分かる」を目指した授業改善
- ③自分の学びを自分でつくる家庭学習習慣の育成

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習(ふるさと学習)

地域に根ざして学び、ジオパーク学習(ふるさと学習)で地域の事象や人と繰り返し関わる体験をとおしてまろやかな心を耕し、ふるさとへの愛着を高める。

(2) キャリア教育

様々な人との関わりや体験活動を通して、自分のあり方や生き方を見つめ、共によりよく生きていこうと努力する子どもを育てる。

- ①低学年…生活科での野菜づくりや飼育活動等をとおして、自分の役割が分かり、実践しようとする態度を養う。
- ②中学年…社会科での町探検や総合的な学習の時間での地域の人々との関わりをとおして、働くことの楽しさがわかり、自分の仕事を主体的に行う態度を養う。
- ③高学年…地域の働く大人や専門家から学ぶ機会を設定し、働くことの大切さや意義について深く考える。また、将来の夢や希望をもち、実現を目指して努力しようとする態度を養う。

(3) 特別支援教育

- ①誰でも居心地のよい学級となるようにする。
- ②どの子にも分かる授業を実践する。
- ③自分を知って自分を好きになるようにする。

④教育相談の充実を図る。

(4) 学力向上いといがわプラン

①3取組

時間：朝の学習タイム

内容：音読、まず計算、漢字学習

②授業改善

「ふりかえり」から「課題」の流れを意識した授業構成

7 教職員の構成

- 校長1 ○教頭1 ○教諭10 ○講師1
○養護助教諭1 ○事務員1
○教育補助員5 ○管理員1 ○調理員5

8 学校運営協議会

【委員の構成】15名

○町内会長、教職経験者、PTA、おやじ倶楽部等

【CSとしての課題(熟議の課題と取組)】

○CS人づくり目標に基づく協働した連携活動

○登下校を中心とした「見守り隊」の拡大

日課表

	月	火	水	木	金
8:15	職員勤務開始				
～8:15	児童登校				
8:15～8:25	朝の会				
8:25～8:45	集中タイム	集中タイム	フッ化物流口、 学級タイム	集中タイム	集中タイム
8:45～9:30	1限	1限	1限	1限	1限
9:35～10:20	2限	2限	2限	2限	2限
10:20～10:40	業間				
10:40～11:25	3限	3限	3限	3限	3限
11:30～12:15	4限	4限	4限	4限	4限
12:15～12:50	給食				
12:50～13:35	昼休み				
13:35～13:45	清掃	清掃	清掃	清掃	清掃
13:50～14:35	5限	5限	5限	5限	5限
14:35～14:45	帰りの会	帰りの会	帰りの会	帰りの会	帰りの会
下校バス① 14:50	1～6年生	1・2年生	3～6年生 14:50～15:00 14:50～15:00 14:50～15:00	1年生	1～3年生
14:40～15:25	職員会議 職員研修 研究推進 (15:20～16:40)	6限	6限 14:50～15:00 14:50～15:00	6限	6限
15:25～15:35		3～6年生	3～6年生 14:50～15:00 14:50～15:00 14:50～15:00	2～6年生	4～6年生
下校バス② 15:40		課外活動	職員終礼 (16:00～16:20)	課外活動	学年部会
15:40～16:25	下校バス③ 16:30	5・6年生	5・6年生	5・6年生	研究推進
16:45		職員運動			

*児童下校 月：14:50 火～金：15:40

*通学方法 スクールバス11名 徒歩151名



校章

Email umikawa@itoigawa.ed.jp

糸魚川市立西海小学校

所在地 糸魚川市大字羽生 1937

校長 水澤 哲

教頭 永森 幸代

☎ 025(552)3811

fax025(552)0763

2023 年度学級編成 (特支人数は再掲)

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	1	1	1	1	1	1	2	7
男子	0	4	6	3	6	5	1	24
女子	4	4	9	4	4	6	4	31
計	4	8	15	7	10	11	5	55

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

H17 西海小学校発足 (北西海小学校
と南西海小学校が統合)

H26 創立 10 周年記念式典挙行

H27 交通安全ヘリコプター訪問
(泉田裕彦県知事訪問)

R 1 創立 15 周年記念行事実施
(航空写真撮影・鑑賞教室)

(2) 教育課題

□豊かな心の育成

- ・良好な人間関係づくり・人権感覚の育成

□確かな学力の育成

- ・ICT を活用し、主体的・対話的で深い学びを目指した授業改善と家庭学習習慣の確立

□健やかな体の育成

- ・望ましい生活習慣の定着と体力の向上

□PTA、後援会、公民館等と連携・協働した教育活動や生活指導の充実

□糸魚川市子ども一貫教育の推進

- ・「自立する 18 歳」の基礎を培う教育活動
- ・保育園や中学校との接続を意識した教育活動

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

うるわしき心 よく学び 元気な体 清き夢

(2) 重点目標

元気はつらつ西海の子

(3) 重点目標達成のための方策

- 温かな人間関係に支えられた授業実践
- 子どもの権利条約と同和教育の授業実践
- 集中力を高め取組の実施と家庭学習習慣の定着
- 特別支援教育の充実とUD化の推進
- 西海の教育資源の活用
- 家庭や地域、保・小・中の連携

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

基礎基本の確実な定着と、それらを活用し課題解決する力の育成を進め、学習意欲の向上を図る。

(2) 特別の教科 道徳

主体的な判断に基づいて道徳的実践を行い、自立した人間として他者と共によりよく生きる児童を育てる。

(3) 外国語・外国語活動

外国語学習を通じて、言語やその背景にある文化の多様性を尊重し、コミュニケーションを図るための素地を身に付けた児童を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

地域から学習課題を見付け、解決に向けた探求的な活動を通して、地域や人に進んで関わる児童を育てる。

(5) 特別活動

互いに助け合い、認め合う人間関係を築こうとする態度やよりよい学校生活にしようとする自治の力を育てる。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

コミュニケーション能力と規範意識の向上により社会性を育成し、互いの良さを認め合い、いじめを許さない態度を育てる。

(2) 具体的な実践の方策

- いじめ防止基本方針や「いじめ防止学習プログラム」に基づく、より良い人間関係構築や児童の自己有用感や規範意識を育み、粘り強く取り組む態度を育てる指導の充実を図る。
- 生活目標「よりよいあいさつと返事をしよう」の達成に向け、年間を通じて取り組む。
- 考えを伝え合う授業実践を重ね、思考力・判断力・表現力を育成する。

- 市共通項目アンケートや学校生活アンケート、Q-U 検査等、子どもを語る会を通じて児童理解を深める。
- PDCAで「魅力ある学校づくり」を推進する。
- 保育園と中学校との連携を図る。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「主体的・対話的に学び、深め合う授業づくり」
～温かな人間関係に支えられた学習集団を目指して～

(2) 研究の内容

①温かな人間関係に支えられた授業実践

- ・学習規律を守り、安心して学習に臨める環境を整え、学級風土を醸成する。
- ・教材研究等により、日頃の「分からないことが分かるようになった」、「できなかったことができるようになった」を積み重ねる。

②各学年における授業の実践

- ・研究教科は指定しない。
- ・考えの根拠や理由を話したり、相手に説明したり、相手の考えを聞いてさらに自分の考えを深めたりするための支援の在り方を研究する。

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

総合的な学習の時間や各教科で、地域素材や地域の講師との関わりを通して、児童にふるさとのおよさや特性を感じとらせ、課題解決能力の育成を図る。

- ①3年生・西海の名勝の調査、紹介
- ②4年生・海川の調査、環境を守る活動
- ③5年生・米作り、米を生かした活動
- ④6年生・職場見学(体験)、修学旅行(西海・糸魚川と他地域との比較等)

(2) キャリア教育

各教科の学習や行事、当番活動、係活動、委員会活動等の教育活動全体を通じて、郷土愛と基礎的・汎用的能力の育成を図る。

*全学年で「キャリアパスポート」を実施する。

(3) 特別支援教育

- ①特別な支援を要する児童の情報共有を全職員で定期的に行い、特別支援教育コーディネーターを中心に、全校体制で支援する。
- ②教育支援委員会と連携し、実態把握と効果的な支援を工夫し、家庭と連携して実施する。

(4) 学力向上糸魚川プランの実施

①実施の概要(時間、内容)

- ・週4日(月、火、木、金)の集中タイム
- ・音読、まず計算、漢字前倒し学習

②家庭学習の習慣化

7 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○教諭 8(含 外国語専科 1)
- 非常勤講師 1 ○養護教諭 1 ○事務主事 1
- 教育補助員 2 ○管理員 1 ○調理員 2

8 学校運営協議会

【委員の構成】15名

- 自治振興協議会長、後援会長、公民館長、保育園長、社会福祉協議会西海支部長、青少年健全育成協議会会長、主任児童委員、民生委員・児童委員、人権擁護委員、地域学校協働活動推進員、集落支援員、PTA 会長、PTA 副会長、校長、教頭

【CSとしての課題】

- 大人と子どもが名前呼び合えるまちづくり
- 大人同士が関わり合える活気あるふるさとづくり
- 学校と地域が連携して夢を語り合う西海

□□ 日課表 □□

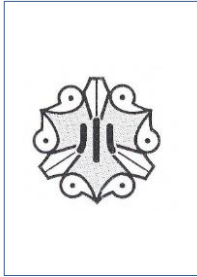
	月	火	水	木	金
朝の会	朝の会(8:15~8:25)				
朝活動	集中タイム (8:25~8:40)	朝活動・読み聞かせ (フック・朝礼) (8:25~8:40)	集中タイム (8:25~8:40)	集中タイム (8:25~8:40)	集中タイム (8:25~8:40)
1	1時間目(8:40~9:25)				
2	2時間目(9:30~10:15)				
	20分休み(10:15~10:35)				
3	3時間目(10:35~11:20)				
4	4時間目(11:25~12:10)				
	給食(12:10~12:55)				
昼	昼休み(12:55~13:35)		ロング昼休み (12:55~13:55)		昼休み (12:55~13:35)
5	5時間目 (13:35~14:20)	清掃 (13:35~13:50)	5時間目 (13:35~14:20)	清掃 (13:35~13:50)	5時間目 (13:35~14:40)
	5時間目 (14:20~14:30)	帰りの会 (14:20~14:30)	5時間目 (13:55~14:40)	帰りの会 (14:20~14:30)	5時間目 (13:55~14:40)
6	帰りの会 (14:40~14:50)	帰りの会 (14:40~14:50)	6時間目 (14:30~15:15)	帰りの会 (14:40~14:50)	帰りの会 (14:40~14:50)
	6時間目 (14:50~15:35)	6時間目 (14:50~15:35)	6時間目 (14:30~15:15)	6時間目 (14:50~15:35)	6時間目 (14:50~15:35)
基本 下校 時刻	1~6年→14:40 路線バス→15:50	1年→15:00 2~6年→15:45 路線バス→15:50	6年・実習中→クラブ・部活 1~3年→14:40 4~6年→15:25 (クラブあり15:45) 路線バス→15:50	1~2年→15:00 3~6年→15:45 路線バス→15:50	1~2年→15:00 3~6年→15:45 路線バス→15:50

*児童下校 月・・14:40(路線バス 15:50)

水・・・14:40,15:25(路線バス 15:50)

火木金・・15:00,15:45(路線バス 15:50)

*通学方法 路線バス 2名 徒歩 53名



糸魚川市立系魚川東小学校

所在地 糸魚川市東寺町 2-4-1

校長 岩月 高峰

教頭 角鹿 康武

☎ 025(552)2700

fax025(552)5256

Email magatama@itoigawa.ed.jp

2023 年度学級編成

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	2	2	2	2	1	1	2	12
男子	22	25	22	24	18	15	11	137
女子	23	23	23	22	16	20	4	131
計	45	48	45	46	34	35	15	268

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

S55年 糸魚川東小学校開校

H19 国立教育政策研究所指定「我が国の伝統文化を尊重する教育」研究発表会

H22 校舎耐震改修工事完了

R1 創立40周年事業実施

(2) 教育課題

- 人間関係づくりの能力の育成
- 基礎学力の定着と家庭学習の習慣化
- 健康習慣の育成
- 個に応じた指導の充実

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

「やさしく かしこく たくましく」

(2) 重点目標

- 望ましい人間関係を築く子
- 意欲をもって学習に取り組む子
- 活力ある毎を送れる子

(3) 重点目標達成のための方策

- 明るいあいさつと正しい言葉遣いの習慣化
- 相談し合い助け合う集団づくり
- 互いにきまりを守り、居心地のよい日常の実現
- 学びを深める言語活動と授業展開の工夫
- 基礎基本の定着や集中力の育成
(ステップアップタイムの取組)
- 自分を高める家庭学習の推進
- 生活リズムと食に関する指導の推進
- 電子メディアとの上手な付き合い方の指導
- 個々の体力が高まる体育指導の工夫

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

授業改善を通じて、主体的な学習態度を養い、基礎的な知識・技能の習得や思考力、判断力、表現力

等を育てる。

(2) 道徳の時間

友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、人間関係を築こうとする態度や、善悪の判断をし、責任のある行動をしようとする態度を育てる。

(3) 外国語科・外国語活動

外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深めるとともに、表現に親しみながら、進んでコミュニケーションする態度を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

豊かな学びと豊かな心を育成する。

豊かな学びとは、①果敢にチャレンジし、自ら課題を見付け、考え、問題を解決する力、②各教科での学習を生かしたバランスの取れた判断力、総合的な見方・考え方を働かせる力、③豊かで個性的な表現力やコミュニケーション能力

豊かな心とは、①自立心や強調心、思いやりの心を身に付け、他と積極的に関わろうとする気持ち、②自分の良さに気付き、自分に自信をもち、自己の生き方について考えようとする気持ち

(5) 特別活動

友達と合意形成を図り、支え合い協力しながら活動したり最後まで自分の役割をやり通したりする態度を育成する。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

温かい人間関係が築かれた集団の中で、のびのびと活動する中にもけじめのある学校生活を送ることができるようにする。

(2) 具体的な実践の方策(抜粋)

- 核となる行事や活動を中心にして、共感的な人間関係づくりを行う。
- 望ましい生活習慣を身に付け、いじめ防止を図る。
- プラスのフィードバックに努める。
- 児童の実態に即した生活目標の取組とSSTの実施

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

確かな読みの力を育て、論理的思考を養う国語科授業の研究 ～対話を通して～

(2) 研究の内容

対話から考えを広げ、「確かな読みの力」を育成する指導方法について研究する。

- ① 授業研究を行い、研究主題について明らかにしていく。「言語活動」「言葉による見方・考え方」に焦点を当てて授業を構想して実践する。また、公開授業後に協議会を行い、効果的な手法や発問について明らかにしていく。
- ② 授業を評価し、授業改善に生かす。教師は授業について授業改善チェックリストを基に評価する。毎学期評価する。

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

地域の人々やジオサイトなどの歴史・文化・自然から学び、地域に対する誇りと親しみや愛着を育てる教育活動を行うようにする。

- ① 3年生…ひだまりっ子のせっかく糸魚川！
- ② 4年生…大好き！糸魚川～ひまわりが咲き続きますように～
- ③ 5年生…「糸魚川ふるさとPR大使」になろう！

(2) キャリア教育

学校生活の中で自分の役割や適正を見つけ、周囲と協力して責任を果たすようにする。

- ① 低学年…学級での係や当番活動の実施や地域の方とのふれあい活動
- ② 中学年…社会科の町探検や見学での職業理解
- ③ 高学年…糸魚川PR活動と職業調べの実施

(3) 特別支援教育

- ① 一人ひとりの個性・特性、教育的ニーズに応じた指導
 - ・分かりやすい個別の指導計画の改善と実践
- ② 校内委員会を中心とした全教職員の共通理解に基づく取組
 - ・個別の指導計画の共有と全校体制の取組
- ③ 家庭、関係機関と連携したとぎれない支援
 - ・家庭との綿密な連携及び通級指導教室担当者を中心した連携

(4) 陰山メソッド（小学校のみ）

月、火、木、金の朝8時25分～8時40分をステップアップタイムと位置付け、全校一斉に音読→百ます計算→漢字学習を行う。

- ① 音読
全校で共通の音読教材を音読する。
- ② 百ます計算
2～3週間で問題を変えて取り組む。
- ③ 漢字
全学年（1年を除く）1学期中に当該学年の漢字を習得する。ユニットテストや60ます漢字テスト等を活用し、確実な定着を図る。

7 教職員の構成

- 校長1 ○教頭1 ○教諭16 ○助教諭1
- 養護教諭1 ○事務主事1 ○非常勤講師2
- 教育補助員4 ○管理員1 ○調理員6

8 学校運営協議会

【委員の構成】14名

- 学区協議会長、民生児童委員、交通指導員
- 公民館支館長、PTA代表

【CSとしての課題（熟議の課題）】

- 育てたい子ども像の実現に向けた組織的な取組
- 登下校時における児童の安全確保について
- 生活科や総合の教育活動への助言や参画

□□ 日課表 □□

	月	火	水	木	金
8:15～8:25	朝の会				
8:25～8:40	ステップアップタイム	ステップアップタイム	フナ物産品・読書	ステップアップタイム	ステップアップタイム
8:40～9:25	1限				
9:30～10:15	2限				
10:15～10:35	20分休み				
10:35～11:20	3限				
11:25～12:10	4限				
12:10～12:55	給食				
12:55～13:40	昼休み				
13:40～13:55	清掃	集会・昼休み	清掃	[特別校時] 5限 6限 委員会 または 5限 クラブ 終礼	清掃
14:00～14:45	5限				
14:50～15:35	会議 研修	6限			6限
～16:45	終礼	課外			課外

*児童下校 15時50分（課外 16時45分）

*通学方法 徒歩268名



糸魚川市立糸魚川小学校

所在地 糸魚川市中央 1-2-1

校長 富永 浩文

教頭 平野 浩一

☎ 025(552)0042

fax025(552)1304

Email itosyo@itoigawa.ed.jp

2023年度学級編制（特支人数は再掲）

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	2	2	2	2	2	2	6	18
男子	30	34	32	33	39	29	28	197
女子	32	15	18	29	36	35	9	165
計	62	49	50	62	75	64	37	362

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

M 5 柏崎県学糸魚川分校として開校

T 12 現在の校歌（第2校歌）制定

S 55 糸魚川東小学校と分離

H 13 新講堂竣工

H 17 高田養護学校ひすいの里分校併設

H 26 新校舎完成竣工式

(2) 教育課題

□知識・技能の習得と判断力・思考力・表現力等の育成

□違いを認め、他者と関わる力の育成

□健康的な生活に向けた実践力の育成

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

「やさしく ゆたかに たくましく」

(2) 重点目標

●ともに学びを深める子

(3) 重点目標達成のための方策

●自他を大切にし、違いを認め合う心を育てる。

●安心して自分を伸ばそうとする力を育てる。

●諸問題を解決するための基礎を習得する力を育てる。

●知識や経験をつないで、そうぞう(想像・創造)する力を育てる。

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

安心できる環境のもとで、多様に考えを出し

合い、自分の見方や考えを広げる子を育成する。

(2) 道徳の時間

人や自然とのかかわりを大切にし、思いやりの心をもつ子を育成する。

(3) 外国語活動

外国語を使って積極的に自分の考えや思いを伝え合う児童を育成する。

(4) 総合的な学習の時間

豊かな感性と互いに生き生きと学び合える人間関係を育成する。

(5) 特別活動

自主的、実践的な集団活動を通して、心身の調和がとれた発達と個性の伸長を図り、互いのよさや自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

違いを認め、他者を受け入れながら一緒に活動しようとする子どもの育成

(2) 具体的な実践の方策（抜粋）

●互いのよさを認め合い、児童一人ひとりが自己存在感もてる学級経営を行う。

●命の大切さを指導し、生命尊重の心を育てる。

●児童理解研修等で情報交換をし、全職員の共通理解のもと、問題行動の早期発見、早期解決にあたる。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「主体的に表現できる子どもの育成」

(2) 研究の内容(抜粋)

学級の実態に合わせて2つの工夫を意識しながら、学習指導と生徒指導を充実させていく。

- ①児童の安全基地としての学級づくりの工夫
 - ・児童一人ひとりのよいところを伸ばし、自己肯定感を高める。
- ②児童が主体的に表現する活動の工夫
 - ・児童が思考したり表現したりする活動を充実させる。

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

身近なジオパークを教材にした生活科・総合的な学習の時間での体験や活動を通して、ふるさと糸魚川への愛着や誇りを形成する。

3年生：地域の商店街を探検し、地域のよさを発見しようとする子を育てる。

4年生：塩の道を調べることを通して、糸魚川の歴史等を学び、地域を愛する心を育てる。

(2) キャリア教育

他者との関わり、自分らしさに気づき、夢や目標に向かって自ら努力できる子どもを育てる。

- ①低学年…係活動や当番活動、家でのお手伝い
- ②中学年…社会科での町探検、施設見学等
- ③高学年…様々な人との関わりや職場体験活動

(3) 特別支援教育

- ①コーディネーターを中心に校内支援委員会を開き、実態把握をし、支援方法を決定する。
- ②スムーズに途切れない支援ができるように指導計画・支援計画を修正・活用する。

(4) 学力向上いといがわプラン

- ①実施の概要…名称：パワーアップタイム
 - ・朝活動 15分間で実施 週4回月～木
 - ・音読⇒まず計算⇒漢字練習をセットに順番どおりに行う。
- 音読～全校で共通の名文の音読 (2分)

○まず計算 (5分)

- ・最低1週間は同じ問題を行う。
- ・個人ファイルに、結果カードや終わった百ますのプリントを綴る。

○漢字学習 (8分)

- ・1学期中に1年分の漢字を学習し、2・3学期に熟語テストやまとめテスト等で習熟を図る。

7 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○教諭 25 ○講師 1
- 養護教諭 1 ○栄養教諭 1 ○事務主幹 1
- 言語(幼) 2 ○教育補助員 7 ○司書 1
- 管理員 2 ○調理員 10 ○事務補助員 1

8 学校運営協議会(該当校)

【委員の構成】15名

○後援会長、地区代表、民生児童委員、PTA等

【CSとしての課題(熟議の課題と取組)】

- 教育課題解決に向けた協働的な取組
- 児童の安全・安心を守る協働的な取組

□□ 日課表 □□

令和5年度 校時表				
月	火	水	木	金
登校				
朝の会				
8:15				
8:25	パワーアップタイム (モジュール)	パワーアップタイム (モジュール)	パワーアップタイム (モジュール)	パワーアップタイム (モジュール)
8:40	1限	1限	1限	1限
9:25	学習準備			
9:30	2限	2限	2限	2限
10:15	20分休み			
10:35	3限	3限	3限	3限
11:20	学習準備			
11:25	4限	4限	4限	4限
12:10	給食			
12:55	昼休み(職員休憩時間 12:55～13:40)			
13:40				
13:55	5限	清掃	5限	清掃
14:00	学習準備		学習準備	学習準備
(14:25)	5限	5限	5限	5限
(14:30)	学習準備	委員会活動 クラブ活動	学習準備	委員会活動 クラブ活動
(14:30)	6限 (1・2年なし)	6限 (1・2年なし)	6限 (1・2・3年なし)	6限 (1・2・3年なし)
14:45	6限	委員会～15:30 クラブ～15:45	6限	6限
14:50	6限	委員会～15:30 クラブ～15:45	6限	6限
(15:15)	6限	委員会～15:30 クラブ～15:45	6限	6限
(15:25)	6限	委員会～15:30 クラブ～15:45	6限	6限
15:35	6限	委員会～15:30 クラブ～15:45	6限	6限
16:45	課外活動16:45 下校	課外活動16:45 下校	課外活動16:45 下校	課外活動16:45 下校

*児童生徒下校 5限時 15:00(14:40)6限時 15:50(15:30)

*通学方法 路線バス 8名 徒歩 354名



糸魚川市立大野小学校

所在地 糸魚川市大野 2044-1

校長 有坂 一郎

教頭 竹田 道則

☎ 025(552)0095

Fax 025(552)0172

Email i-oono-s@itoigawa.ed.jp

2023 年度学級編制

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	1		1		1	1	2	6
男子	4	4	4	4	4	4	3	24
女子	0	1	4	1	4	7	2	17
計	4	5	8	5	8	11	5	41

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

- 明治 6年 宇西明寺の無毒庵を仮校舎とし、仮学校を設立
- 明治 9年 宇江端 2038 に新校舎完成
- 明治 21年 尋常科大野小学校と改称
- 明治 23年 現在地に校舎新築
- 昭和 22年 大野村立大野小学校と改称
- 昭和 28年 新校舎建築 落成祝賀会と併せて、創立 80 周年記念式を挙
- 昭和 29年 糸魚川市立大野小学校と改称
- 昭和 48年 創立 100 周年記念の式典挙
- 平成 5年 創立 120 周年記念の式典挙
- 平成 12年 新校舎建築
- 平成 15年 創立 130 周年記念の式典挙
- 平成 19年 キャリア教育文部科学大臣賞受賞
- 平成 25年 創立 140 周年記念の式典挙
- 令和 2年 河川功労者全国表彰

(2) 教育課題

- 自ら考える力の育成と確かな学力の定着
- 豊かな心と共感的な人間関係づくり
- いじめ・不登校ゼロ
- 体力の向上と健康な生活習慣の確立
- 郷土を大切にする教育の推進

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

ひとりで(自立) みんなと(共生) さらに(挑戦)

(2) 重点目標

- 互いに学び合い自分の考えを深める子の育成
- 温かくかわり合い互いを大切にする子の育成

○望ましい生活習慣を身に付け楽しく体つくりにはげむ子の育成

(3) 重点目標達成のための方策

- 学びを支える基礎学力の定着（学力向上といがわプランの推進）＜自立＞
主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善＜共生＞
家庭と連携した学習習慣の形成＜挑戦＞
- 自他ともに大切にする心を育てる道徳・人権教育、特別支援教育の充実＜自立＞
温かく、居心地のよい学級づくり＜共生＞
互いのよさを認め合えるような交流の場の設定＜挑戦＞
- 健康な体を育み、運動が楽しいと感じられる授業の工夫＜自立＞
望ましい生活リズムの習慣化＜共生＞
メディアとの適切なかわり方の啓発＜挑戦＞

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

○主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、デジタル／アナログのよさを生かした授業及び、糸魚川授業改善 5 つのポイントを意識した授業を推進する。

(2) 特別の教科道徳

○道徳的価値について理解し、自己を見つめ、自己の生き方について考えを深め、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

(3) 外国語活動

○外国語を用いて他とのコミュニケーションを

楽しむとともに、自分の気持ちを伝えようとする態度を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

○体験活動を中核に置き、仲間と力を合わせて課題を解決する等、子どもの自立と自主性、自発性を育成する。

(5) 特別活動

○自治的諸活動や集団活動において合意形成を図ったり意思決定したりして、人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、他者と協働して自己実現を図ろうとする態度を育てる。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

○自己指導能力の育成

(2) 具体的な実践の方策（抜粋）

- ①自己存在感を与える場や方法の充実
- ②共感的人間関係を育む場や方法の充実
- ③自己決定する場の提供
- ④安全・安心な風土の醸成

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり」

(2) 研究の内容

- 「目指す子どもの姿」を明確にした授業
- デジタル／アナログ、それぞれのよさを生かした授業

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

○地域素材や地域講師を活用し、ふるさと糸魚川への愛着や誇りの形成・持続可能な発展の視点などの見方、考え方を育成する。

(2) キャリア教育

○他者とのかかわりを通して自分らしさに気づき、夢や目標に向かって努力する力を育てる。

(3) 特別支援教育

○児童一人ひとりの実態を把握し、それに応じた指導方法を工夫・改善することによって、

児童に必要な支援を行い、児童のもつ力を高める。

○児童一人ひとりの可能性を最大限に引き出し、伸ばしながら、自分らしく生きていくための力を育てる。

(4) 陰山メソッド

- 百ます計算（週4回：集中カタイム）
- 音読（週4回：集中カタイム）
- 漢字練習（週4回：集中カタイム）

7 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○教諭 5 ○助教諭 1
- 養護教諭 1 ○事務主事 1 ○非常勤講師 1
- 教育補助員 2 ○管理員 1 ○調理員 2

8 学校運営協議会

【委員の構成】

○区長、公民館長、主任児童委員、青少協会長、社会福祉協議会支部長、保育園長、公民館主事、PTA三役、校長、教頭

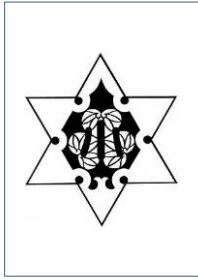
【CSとしての課題】

○「子どもは大野の宝」を理念とした実践

□□ 日課表 □□

令和5年度 校時表					
	月	火	水	木	金
職員出勤・児童登校					
8:15	朝の会				
8:25	集中カタイム (音読・百ます・漢字)	集中カタイム (朝会の場合あり)	集中カタイム (音読・百ます・漢字)	朝読書・読み聞かせ	集中カタイム (音読・百ます・漢字)
8:45	1限 11 1	1限 21 6	1限 31 11	1限 41 16	1限 51 21
9:30					
9:35	2限 12 2	2限 22 7	2限 32 12	2限 42 17	2限 52 22
10:20	20分休み				
10:40	3限 13 3	3限 23 8	3限 33 13	3限 43 18	3限 53 23
11:25					
11:30	4限 14 4	4限 24 9	4限 34 14	4限 44 19	4限 54 24
12:15	給食				
12:55	休憩	休憩(ロング)	休憩	休憩	休憩
13:40	清掃		清掃	13:45~14:30 5限 45 20	清掃
13:55					
14:00	5限 15 5	5限 25 10	5限 35 15	帰りの会 46 28	5限 55 25
14:45	帰りの会	帰りの会	帰りの会	14:40~15:25 6限 46 28	帰りの会
14:55	14:55下校	6限 26 26	6限 36 27	15:30下校	6限 56 29
15:10	委員会		クラブ 年6回 70分		
15:25					
15:40		15:45下校	15:45下校	15:30~16:15 課外活動 (ト鼓隊・陸上)	15:45下校
15:45	職員会議 職員研修	15:45~16:30 課外活動 (ト鼓隊・陸上)			
16:05			職員終会		15:45~16:30 ※課外活動 (音読・内野)によっては 入れることが可能な枠)
16:20				16:20下校	
16:45		16:35下校		16:35下校	

*通学方法 路線バス 2名 徒歩 39名



糸魚川市立根知小学校

所在地 糸魚川市東中 5121-1

校長 飯田 美輝夫

教頭 齋藤 雅彦

☎ 025(558)2100

fax025(558)2109

Email nechi@itoigawa.ed.jp

2023 年度学級編制 (特支人数は再掲)

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	1	0	1	1	1	1	1	4
男子	0	1	0	3	1	2	0	7
女子	2	1	0	1	3	6	1	13
計	2	2	0	4	4	8	1	20

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

S48 下根知小、上根知小、蒲池小を統合し、根知小学校として開校

H11 9月現在の地へ移転

H14 小滝小、山之坊小を統合。創立 30 周年記念式典の挙

H24 創立 40 周年記念式典、講演会、祝賀会の挙

R 4 創立 50 周年記念式典、文化祭、祝賀会の挙

(2) 教育課題

○学習規律を守り、学習がしっかりできる子どもを育てる。

○地域の人や自然・文化と主体的にかかわり、よりよい生き方を追求できる子どもを育てる。

○誰とでも思いやりの心で関わり、互いのよさを認め合える子どもを育てる。

○めあてに向かって体力づくりや健康づくりに励み、心身ともにたくましい子どもを育てる。

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

「考える子 助け合う子 がんばる子」

(2) 重点目標

●自分の考えをもち、課題を解決する子

●自分と相手を大切にし、積極的に関わり合う子

●進んで体を動かし、望ましい生活リズムを身に付ける子

(3) 重点目標達成のための方策

●学習内容の確実な習得のための授業を推進し、家庭学習が確立される取組を工夫して行う。

●児童一人ひとりが「学ぶ楽しさ」「分かる喜び」を実感できるよう特別支援教育の視点から、個に応じた学習指導を推進する。

●わが糸魚川の郷土根知を学ぶ学習を充実させ、根知に愛着と誇りをもつ心を育む。

●自己肯定感を高め、共感的な人間関係づくりが行えるよう、児童一人ひとりに寄り添いながら、児童同士、さらに地域の人々と主体的に関わる教育活動を実践する。

●めあてをもち、粘り強く心身を鍛えるときともに、望ましい生活習慣が身に付くよう家庭と連携しながら保健指導の充実を図る。

●全ての教育活動を通じて、生命の大切さを実感させるとともに、家庭や地域と連携した地域防災教育の一層の推進を図る。

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、主体的、対話的に学ぶ力を育てる。

(2) 道徳の時間

自己や他者、社会にとって、人として望ましい行動を進んでしようとする態度を育てる。

(3) 外国語活動

外国語による言語活動を通して、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

地域の人々、物、自然と関わり、よりよい自分の生き方を追求する態度を育てる。

(5) 特別活動

学級での話し合い活動や縦割り班活動を通して、自己肯定感を高め、共感的な人間関係の育成を図る。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

誰にでも明るい挨拶ができ、いろいろな人と思いやりをもって関われる児童を育てる。

(2) 具体的な実践の方策(抜粋)

●「明るい挨拶 声かけ合って やさしい言葉」を学校、学級で推進し、いつでも誰にでも明るい挨拶ができる子の育成に努める。

●互いのよさを認め合える温かい学級、学校づくりを進める。

●毎週 1 回、情報交換会を行い、全職員で児童に関わる情報を共有し、迅速・適切な指導を行う。

●児童の問題行動等の発生時は、担任が一人で抱え込むことなく、いじめ対策委員会などを開き組織的に取り組む。

- アンケートや教育相談等を定期的に実施し、いじめや問題行動の早期発見に努める。
- PTAや地域と連携し、挨拶運動、交通事故防止、非行防止の推進に努める。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「自分の学びを広げ、深める児童の育成」
(元年次)

(2) 研究の内容

根拠に基づいた考えを書いたり、話したりする。友達との違いに気付き、互いの意見を認め合える学習を重ね、目標の具現化を図っていく。

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

特別活動や総合的な学習の時間との関連を図り、地域の自然や人々と関わりながら、体験活動を効果的に取り込み、ふるさとへの誇りと愛着を持つことができるようにする。

- ① 根知の文化ジオパーク
 - ・おててこ舞、七夕飾り、十二社相撲
- ② 根知の自然ジオパーク
 - ・塩の道、根知川、市内ジオサイト

(2) キャリア教育

様々な人との関わりや体験活動を通して、よりよい自分の生き方を追求する態度を育てる。

- ① 低学年・・・係活動の実施、地域の人との触れ合い活動
- ② 中学年・・・地域の伝統芸能を引き継ぐ人との交流活動
- ③ 高学年・・・根知で働く人との交流、福祉に関する活動を通じた生き方学習

(3) 特別支援教育

- ① 一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援と個別の指導計画を基にした指導方法の工夫・改善に努める。
- ② 全教職員の情報共有と保護者や関係機関との連携を図り、途切れない指導・支援を推進する。

(4) 学力向上といがわプラン

- ① 実施の概要（時間、内容）
陰山メソッドに基づいた学習を朝学習（Mスタ）に位置付けて取り組んでいる。月から金曜日までの週4回、音読・ます計算・漢字に取り組む。
- ② 子どもの様子
継続することで、漢字の正答率が上がり、ます計算のタイムも縮まっている。また、朝学習（Mスタ）の流れや学習の仕方に慣れ、正確さや集中力が高まってきている。

(5) クラス会議を中心とした学級経営の充実

自己肯定感、所属感を高めるための学級経営を充実させる。クラス会議を活用することで一人ひとりが意欲的に学習し、楽しい学校生活を送ることができるようにする。

7 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○教諭 4 ○養護助教諭 1
- 事務主任 1 ○管理員 1 ○調理員 2

8 学校運営協議会

【委員の構成】12名

- 振興協議会長、学識経験者、PTA会長、公民館長、根知地区青少年育成協議会会長
- 学校応援隊他

【CSとしての課題（熟議の課題）】

- 根知っ子の実態と目指す姿
- 地域と学校の持続可能な連携体制について

□□ 日課表 □□

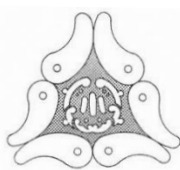
	月	火	水	木	金
8:10~ 8:25	朝の会				
8:25~ 8:40	朝学習（Mスタ）				
8:40~ 9:25					
9:30~ 10:15					
10:15~ 10:35	根知っ子タイム（20分休み）				
10:35~ 11:20					
11:25~ 12:10					
12:10~ 12:55	給食				
12:55~ 13:40	昼休み				
13:40~ 13:55	清掃				
13:55~ 14:40					
14:40~ 14:55	帰りの会				
14:55~ 15:40					
	放課後、課外活動等				

*児童生徒下校 5限時 15:00

6限時 16:00

*通学方法 スクールバス 14名 徒歩6名

糸魚川市立田沢小学校



所在地 糸魚川市田海 13 番地 2
校長 浅野 一清
教頭 早川 尚美
☎ 025(562)2215・2216
fax025(562)2216
Email tazawa-es@itoigawa.ed.jp

令和 5 年度学級編成

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	計
学級	1	1	1	1	1	2	3	10
男子	10	15	12	18	14	24	7	93
女子	10	11	13	16	20	20	6	90
計	20	26	25	34	34	44	13	183

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

- 昭和 38 年 田海小学校と須沢小学校が統合し、田沢小学校が開校
平成 18 年 新校舎完成、旧校舎解体工事
平成 20 年 体育館、プール完成、竣工式
平成 24 年 県小研「総合的な学習の時間」研究大会
令和 5 年 創立 60 周年記念

(2) 学校課題

- 自らの人生を切り拓き、未来社会を創造する力を育てる

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

すすんで取り組む子

(2) 重点目標

- 豊かな心と好ましい人間関係の育成
- 確かな学力と学習意欲の向上
- たくましい体の育成と生活習慣の定着

(3) 重点目標達成のための方策

- ・ 学力向上といがわプランで示された音読、まず計算、全漢字学習による基礎学力の定着・集中力の向上
- ・ 中学校区や家庭と連携した「家庭学習習慣」定着の取組の推進
- ・ 「授業改善 5 つのポイント」を意識した授業改善
- ・ 地域とのかかわりを重視した「生活・総合的な学習」の推進
- ・ 自他の「命」を大切に作る心の育成
- ・ 「役に立つ喜び」をもたせる活動の推進と自己有用感の育成
- ・ 日常的なあいさつや返事、感謝の言葉の奨励
- ・ いじめを許さず、互いを認め合うための振り返りの場の設定
- ・ 健康的な生活習慣づくりに向けた「生活リ

ズム改善」「メディア視聴時間コントロール」の取組の実施

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

主体的・対話的で深い学びにつながる「分かりたくなる」授業づくりに取り組む。

(2) 道徳科

道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

(3) 外国語活動

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質能力を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質能力を育てる。

(5) 特別活動

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、資質能力を育成する。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

いじめを許さない意識の醸成や不登校の解消を目指した、認め合い、支え合う集団づくり

(2) 具体的な実践の方策

- ・ 自校のいじめ防止基本方針に基づいて、いじめ等の未然防止や早期発見、組織的対応を行う。

- ・ 生徒指導支援員の活用を進めながら、hyper-QU の分析結果をもとに集団づくり、人間関係づくりをすすめる。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

主体的・対話的で深い学びにつながる「分かりたくなる」授業づくり

(2) 研究内容

令和4年度は、児童が落ち着いた態度で、安心して学級および学校生活を送ることができるよう、望ましい学習規律や学校生活のルール、マナーの定着と習慣化を目指して校内研修を行った。全校共通のマナーである「田沢っ子ベーシック」を作成し、「時間を守ること」「よい姿勢を身に付けること」の二つを柱に、定着・習慣化に向けて全校体制で取り組むことで、徐々に学習規律が定着し、学習に向かう集中力も高まってきた。

今年度は、昨年度までに育成した学習規律、学習環境を土台として、教師主導の指導から子ども主体性を大切にした授業づくりへ校内研究をシフトする。グランドデザイン「よい授業で学級をつくる よい学級で授業をつくる」という理念のもと、児童が主体的に学習に取り組む姿を目指し、児童のやる気を高める授業改善に取り組んでいく。

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

- ・ ジオパーク学習を年間指導計画に位置付け、体験的・探究的学習を実施

(2) キャリア教育

- ・ 「キャリアパスポート」の活用と、小中連携を考慮した取組の推進
- ・ 園と学校、家庭、地域及び事業所と連携した地域参画型のキャリア教育

(3) 特別支援教育

- ・ 園・学校体制で取り組む特別支援教育
- ・ 校内委員会を中心とした、一人ひとりの子どもに寄り添った支援の充実
- ・ 個別の指導計画に基づいた教育活動
- ・ 特別支援学校及び通級指導教室等の関係機関との連携強化

(4) 学力向上といいがわプラン（三取組）

- ・ 基礎学力の定着と集中力の向上を目指した
- ・ 朝学習での音読とます計算、全漢字学習（2～6年）の重点化

(5) GIGA スクールいといがわ

- ・ ICT 支援員・情報教育推進員を中心とした iPad 活用方法の校内研修と情報共有
- ・ 保護者・地域の情報リテラシーを高める講演会や研修会の実施

7 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○教諭 14
- 養護教諭 1 ○栄養教諭 1 ○主事 1
- 学校司書 1 ○教育補助員 4
- 管理員 1 ○調理員 5

8 学校運営協議会

【委員の構成】13名

- 後援会長・副会長 ○公民館長・自治会長
- 関係行政機関職員 ○民生委員児童委員
- PTA

【C・Sとしての課題】

地域を支え背負う人育て目標の実現のため、地域、学校、家庭が果たすべき役割を見定め、実行できる体制を整える。

令和5年度 校時表

時 程	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
職員出勤 8:15 朝の会	8:15-8:25				フッ化物洗口
朝活動	8:25-8:40	朝学習	朝学習	朝学習	朝読書 (読み聞かせ)
1限	8:40-9:25				
移 動	9:25-9:30				
2限	9:30-10:15				
業 間	10:15-10:35				
3限	10:35-11:20				
移 動	11:20-11:25				
4限	11:25-12:10				
給 食	12:10-12:55				
休 息 職員休憩	12:55-13:35				
移 動	13:35-13:40	パ9-① パ9-②			
清 掃	13:40-13:55	13:40-14:25	清 掃	13:40-14:25	清 掃
集 会	13:35-13:55				
移 動	13:55-14:00				
5限	14:00-14:45	全校 帰りの会 14:25-14:35		全校 帰りの会 14:25-14:35	全校 帰りの会 14:25-14:35
移 動	14:45-14:50	学年・学級 事務 14:40-15:25 (1-4年下校) ★クラブ 14:40-15:40 (1-3年下校)	1年帰りの会	終 礼 14:45-15:30	1-2年 帰りの会
6限	14:50-15:35		学年・学級事務 校内委員会等	2年以上 帰りの会	3年以上 帰りの会
帰りの会	15:35-15:45				
職員退勤	16:45				

* 児童下校 5限後 15:00、6限後 15:45

* 通学方法 スクールバス 13名、徒歩 170名



糸魚川市立青海小学校

所在地 糸魚川市大字青海 382 番地

校長 小野 聡

教頭 澤田 隆

☎ 025 (562) 2027

fax025 (562) 2169

Email omi-es@itoigawa.ed.jp

2023 年度学級編制

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	1	1	1	1	1	1	2	8
男子	9	6	8	12	7	10	7	52
女子	3	13	14	6	5	10	3	51
計	12	19	22	18	12	20	10	103

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

- M 6 柏崎県学区青海村分校として開校
- M 3 4 村立青海尋常高等小学校と改称
- S 2 2 町立青海小学校と改称
- S 3 0 大沢分校開設
- S 4 3 大沢分校廃止
- S 4 7 新校舎（現校舎）落成式
創立百周年記念式典挙行
- S 5 0 橋立小学校統合
- H 1 4 耐震補強及び大規模改修工事
- H 1 6 糸魚川市立青海小学校に改称
- H 1 7 歌外波小学校統合
文科省指定研究「人権教育」発表会
- H 3 0 市振小学校統合
- R 5 創立百五十周年

(2) 教育課題

- 自分も友達も大切に
- 課題を意識して、学習に集中する
- 進んで思いや考えを伝え、学び合う
- 進んで身体を鍛える
- 基本的な生活習慣を身に付ける

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

「心をこめて かかわる子」

(2) 重点目標

- 思いやりのある子 ● よく考える子
- たくましい子

(3) 重点目標達成のための方策

- 人権や命を尊重し、互いに認め合い、支え合う人間関係を築くことができるコミュニケーション力を育成する。
- 基礎・基本の定着を図り、思考力・判断力・表現力を育成する。
- 基本的な生活習慣を、自ら考え実践し、心身の健康を維持増進しようとする意欲や態度を養う。

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

子どもが生涯学び続けていく基盤を築くために、学ぶ楽しさや達成感が実感でき、基礎・基本を確実に身に付けることができる授業づくりに取り組む。

(2) 特別の教科 道徳

人権、生命を尊重し、互いに認め合い、支え合おうとする実践的態度を育成する。

人権月間での学びを発表したり、参観してもらったりする等、保護者や地域との連携を図る。

(3) 外国語活動・外国語科

聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

進んで地域にかかわり、探求課題を見付け、解決することを通して、学んだことを分かりやすく表現する力を育てる。

青海、歌外波、市振地域の素材と繰り返し関わる。

(5) 特別活動

多様な他者との集団活動に自主的・実践的に取り組み、学校生活や人間関係をよりよく形成するとともに、自己実現を図ろうとする態度を養う。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

一人ひとりの子どもが学校生活において充実感が得られるよう、個に応じたきめ細かな指導に努める。

(2) 具体的な実践の方策（抜粋）

- 基本的な生活習慣の定着を図る指導の徹底
- 児童の気持ちを受け止める、共感的関係の構築
- 「生活アンケート」を活用した教育相談の実施
- 定期的な児童理解研修に基づく情報共有と、全職員統一した指導
- 教育相談員やスクールカウンセラー、生徒指導支援員と連携した多角的な児童理解の推進
- 人間関係形成力の育成に向けた継続的な指導

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「主体的・対話的で深い学び」の実現
 —「対話がある学び」を軸とした授業づくり—

(2) 研究の内容

昨年度は、「主体的・対話的で深い学び」の実現（3年次）を主題とし、「自覚育成」を促すまとめ・振り返りの在り方に焦点を当て、研究を進めた。

これにより、子どもたちが学んだことを自覚し、文章化するとともに、相手に伝えようとする姿が見られるようになったことが成果としてあげられる。

今年度は、児童同士の対話のある学びから、考えを深めたり広げたりし、新しい気づきを得られる授業づくりを推進し、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す。

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

総合的な学習の時間を通じて、糸魚川世界ジオパークの地理的な特徴や自然の豊かさに気付く。

- ① 3年生…青海、市振地域に伝わる昔話や伝承
- ② 4年生…青海川流域を中心とした岩石
- ③ 5年生…青海地域の動物や植物
- ④ 6年生…青海地域と能生地域との地層の比較

(2) キャリア教育

地域素材を活用した体験、学習活動を通して、ふるさとへの愛や誇りと、自分の将来を設計し、自立して生きていく力を育む。幼・保・小・中が連携してキャリア教育を推進する。

- ① 低学年…生活科での飼育当番や野菜の世話
- ② 中学年…社会科見学を通じた地域理解、職業理解
- ③ 高学年…環境保全を中心とした奉仕活動

(3) 特別支援教育

的確な実態把握に基づく個に応じた指導の充実を図り、校内委員会での情報共有と個別の指導計画の見直しを推進する。

(4) 学力向上といがわプラン

1～6年生は朝スキル（月・火・木・金 8:15-8:30）で、音読・100ます計算・漢字（前倒し）学習に取り組む。

7 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○教諭 9 ○講師 1
- 養護教諭 1 ○栄養教諭 1（田沢小学校と兼務）
- 事務主事 1 ○言語通級指導員 1
- 管理員 1 ○教育補助員 4 ○調理員 3

8 学校運営協議会

【委員の構成】14名

主任児童委員、民生児童委員、公民館長、交通指導員、幼稚園長、PTA 会長・副会長、校長、教頭、教務

【CSとしての課題（熟議の課題と取組）】

- 家庭・地域と目指す子どもの姿や目標の共有化
- 地域素材を活かした教育活動の推進

□□ 日課表 □□

青海小学校校時表(全体)											
開始時刻	校時	月	火	水	木	金					
8:15	朝学習	スキル	スキル								
8:30	朝の会										
8:40											
	1限										
9:25											
9:30	移動										
	2限										
10:15											
10:35	遊びタイム										
	3限										
11:20											
11:25	移動										
	4限										
12:10											
12:10-12:50	給食										
12:50	昼休み(休憩)										
13:35	移動										
13:50	5限										
13:55											
14:20	5限										
14:20	移動										
14:25	6限										
14:45	6限										
15:10											
15:30											
	放課後										
	外環形バス										
	大沢バス										
	備考										

*児童最終下校 月・水・金(6限) 15時45分

火・木(6限) 15時25分

クラブ活動下校 15時50分

*課外活動下校 火・木 16時30分

*通学方法 スクールバス 10名 路線バス 8名